

アーツカウンシル東京 令和2(2020)年度 東京芸術文化創造発信助成 【長期助成プログラム】 対象事業決定のお知らせ

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京では東京の芸術文化の魅力を向上させ、世界に発信していく創造活動や、地域の文化の振興、社会や都市の様々な課題に取り組む芸術活動を支援しています。

このたび、令和2(2020)年度東京芸術文化創造発信助成【長期助成プログラム】の対象事業を決定いたしました。

今期は24件の申請があり、アーツカウンシル東京での厳正な審査の結果、**4件を採択**いたしました(採択率16.6%)。なお、【長期助成プログラム】**予定総額は26,059千円**です。

■ 今期の【長期助成プログラム】 申請・採択件数

区分 分野	申請件数	採択件数
音楽	2	0
演劇	4	2
舞踊	3	0
美術・映像	6	0
伝統芸能	2	0
複合・他	7	2
合計	24	4

・対象期間:

2020年4月1日以降に開始し、2022年6月30日までに終了する事業で、連続した2年(24か月)以内を実施期間とする事業又は

2020年4月1日以降に開始し、2023年6月30日までに終了する事業で、連続した3年(36か月)以内を実施期間とする事業

■ 東京芸術文化創造発信助成【長期助成プログラム】 について

【長期助成プログラム】では、発表活動だけでなく、作品制作のプロセスを含めて支援することで創造活動を促進すると共に、芸術団体のステップアップの後押しを目的に、2年間または3年間の継続的な支援を行います。また、芸術創造活動だけでなく、芸術創造環境の課題に取り組む、分野全体を広く見渡した活動に対しても助成します。平成29年度からは、【長期助成プログラム】による支援を終了した団体を招いた活動報告会を実施するなど、本プログラムによる成果を広く発信することも試みています。

今年度は、申請件数24件に対して、採択件数は4件となりました。審査においては、公募ガイドラインに明記している助成の基本方針に照らし合わせ、採択事業を決定しました。各概要については、以下のとおりです。

■ 令和2(2020)年度【長期助成プログラム】採択事業 一覧

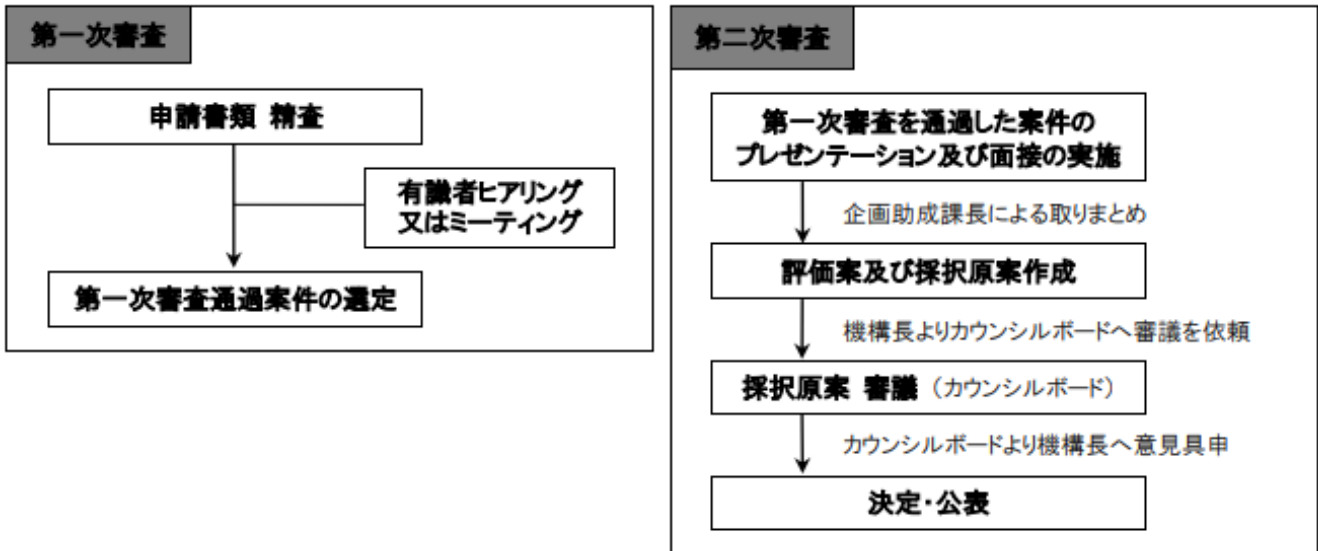
申請 24 件、採択 4 件

(単位:千円)

活動分野	活動内容	申請団体名	一般社団法人shelf	交付決定額
演劇	芸術創造活動	プロジェクト・活動名	交差／横断するテキスト:ミステリーとミスティカルのあいだで(仮) The Crossing Text: Between Mystery and Mystical	5,659
		実施予定年数	3年	
		申請活動の概要	矢野靖人が主宰を務める演劇ユニットshelfが、ジャカルタ(インドネシア)の演出家バンバン・プリハジが率いる劇団チプタットと行う国際共同制作事業。チプタットが三島由紀夫の近代能楽集「卒塔婆小町」を、shelfがインドネシアの現代小説を舞台作品化し、最終的にはこの2作品に共通するテーマやモチーフをベースにした新作を共同創作する。1年目は2作品の研究とワーキングプロセスを東京で行い、2年目に2作品のジャカルタ公演、3年目に新作を東京とジャカルタで上演する。	
活動分野	活動内容	申請団体名	一般社団法人チェルフィッチュ	交付決定額
演劇	芸術創造活動	プロジェクト・活動名	ノン・ネイティブ日本語話者との協働プロジェクト(仮)	7,200
		実施予定年数	3年	
		申請活動の概要	演劇作家の岡田利規が日本語を母語としない俳優と共に日本語を使った演劇作品を創作し上演する。1～2年目で国内外の非ネイティブ話者の演劇活動に関する調査やワークショップを行い、事業コンセプトを強化しながら制作体制を整える。3年目に創作と上演を行うほか、シンポジウム開催や記録物作成を実施する。 現代社会や日本演劇、またそれらで用いられる日本語や言語そのものの多様性にまつわる状況を批判的に捉え、演劇と言語の多様な可能性を拓くとともに、日本演劇の国際性を高めながら真に寛容な社会への意識が育つ土壌を生み出すことが目的。	
活動分野	活動内容	申請団体名	有限会社quinada	交付決定額
複合(演劇)	芸術創造環境の向上に資する活動	プロジェクト・活動名	松井周の標本室	4,800
		実施予定年数	3年	
		申請活動の概要	サンプルの松井周が、さまざまな社会的属性や職分のメンバーでグループ(「標本室」)を構成し、メンバー全員にとって生活や創作の新たな視点や手法を生み出すコミュニティとして持続させることを目指す事業。活動はオンライン・オフラインを使い分け、ディスカッションやワークショップ等を積み上げながら、メンバーそれぞれが自身の日常生活や創作活動に関わるテーマについてリサーチや創作の実験を重ねていく。ここでは一方的に教え受け取るのではなく、それぞれが持つ発想や情報、クリエイティビティをグループ内で循環させることを重視する。これによってメンバーは日常的思考の転換を、松井やアーティストは創作の種や手法を見出ししていく。活動3年目には松井の演劇作品の発表と、活動のアーカイブを公開する。	
活動分野	活動内容	申請団体名	一般社団法人オフィスアルプ	交付決定額
複合(舞踊)	芸術創造活動	プロジェクト・活動名	Echoes of Calling	8,400
		実施予定年数	3年	
		申請活動の概要	東西の両極にあるアイルランドと日本を繋ぎ、中央アジアを介した視座から複数の国々とのグローバルな多文化協働を図るリサーチプロジェクト。アイルランドのベルファストを中心とする演劇のリサーチや中央アジアシャーマニズムにおけるロシア・中東・中国等の影響をリサーチし、日本、中央アジア、アイルランドを貫く「ユーロ=アジア」の伝統と現在の問題意識を表現内容に取り込んだクリエーションを通して作品を進化させ公演へと結びつける。ケルト文化など土地に根付く生活文化や神話を基にダンス、演劇、音楽、美術を融合させ、革新性のある現代芸術へと昇華させることで、日本のコンテンポラリーダンスの新たな観客層の開拓と、ダンスシーンの活性化につなげる。	

■ 採択方法と審査プロセス

以下の審査プロセスによって、採択を決定しています。



<本事業に関するお問い合わせ>

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 企画室 企画助成課 担当：杉谷、玉虫
TEL：03-6256-8431 E-mail：josei@artscouncil-tokyo.jp

<本リリースに関するお問い合わせ>

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 広報担当：糸園、圓城寺
TEL：03-6256-8432 E-mail：press@artscouncil-tokyo.jp

<http://www.artscouncil-tokyo.jp/>